

2017年1月10日

公益社団法人 日本看護協会 広報部



## 1/20 仙台開催「データ活用は地域づくりのたまたま箱」 データを活用した保健活動の強化へ 講演・シンポジウムでデータヘルスの最新の動きを知る

公益社団法人日本看護協会（会長・坂本すが、会員 71 万人）は 1 月 20 日（金）、フォーラム「データ活用は地域づくりのたまたま箱」を、フォレスト仙台（仙台市青葉区）で開催します。自治体の保健師やデータヘルスに関わる担当者など約 200 人が集まり、データを活用した保健活動の強化に向けた動きを共有します。

政府が掲げる「日本再興戦略」では、健康寿命の延伸が重要なテーマです。これからは、疾病の予防に重点を置き、地域ごとに客観的な医療・健診データを用いて分析しながら計画を策定し、保健活動を展開していくことが求められます。

日本看護協会では、2015 年度からデータを活用した健康づくりの方法や成果などを広く収集し、よりよい保健活動の在り方を検討・提案してきました。今回は、その事業に関わった自治体や有識者を交え、効果的な取り組みなどを公表します。報道関係の皆さまには、この機会にぜひご取材をお願い申し上げます。

※データヘルスとは…医療保険者が電子的に保有された健康医療情報を活用し、分析を行った上で実施する、加入者の健康状態に即したより効果的・効率的な保健事業

### ◆開催概要◆

【名 称】平成 28 年度厚生労働省先駆的保健活動交流推進事業 データヘルス計画活用推進事業 データを活用した保健活動推進のためのフォーラム「データ活用は地域づくりのたまたま箱」

【日 時】1 月 20 日（金）10:30～16:30  
（受付開始 10:00）

【会 場】フォレスト仙台 フォレストホール  
（仙台市青葉区柏木 1-2-45）

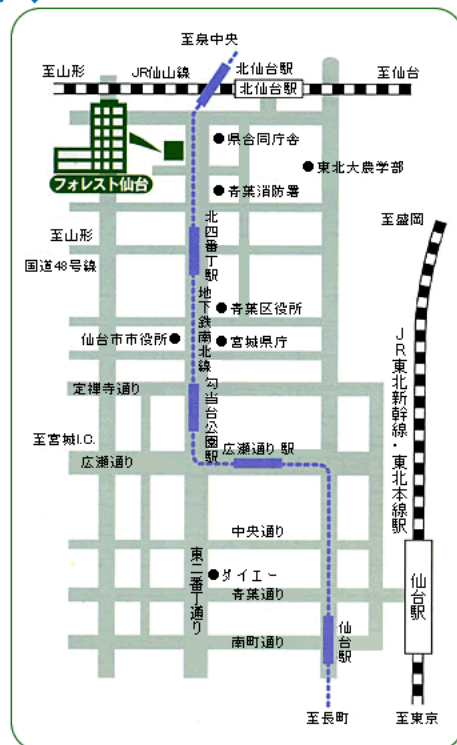
【参加者】自治体の保健師、データヘルスに関わる行政担当者など 200 人（定員満了）

【取材申込み】次頁の取材申込書を FAX いただくか、同内容を E メールでお送りください。

※申込期限：1 月 18 日（水）

【交通案内】

- ・タクシー：JR 仙台駅より 10 分
- ・地下鉄：北四番丁駅下車「北 2 出口」より徒歩 7 分



# News Release 取材のお願い

報道関係者各位

2017年1月10日

公益社団法人 日本看護協会 広報部

## ◆プログラム◆

10:30	開会あいさつ
10:35	【特別講演】時代の潮流とデータヘルス—なぜ、今、データヘルスなのか— 近藤克則（千葉大学予防医学センター／国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター）
11:20	【基調講演】どんどん展開！ データヘルスと地域づくり 古井祐司（東京大学政策ビジョン研究センター）
13:15	【講演Ⅰ】How To データ分析—データ分析基準を優しく解説 中尾裕之（宮崎県立看護大学）
13:50	【シンポジウム】データを活かした保健活動からビッグムーブメントを起こす～それぞれの立場から役割を考える～ 座長：横山徹爾（国立保健医療科学院）、 中板育美（日本看護協会） シンポジスト：早川岳人（立命館大学衣笠総合研究機構）、 北野淑恵（愛知県瀬戸保健所）、 六路恵子（全国健康保険協会）ほか
15:35	【講演Ⅱ】あなたもエキスパート！ データを活用した保健活動の展開へ 中板育美（日本看護協会）

取材をご希望の際は以下にご記入の上、FAX 03-5778-8478  
またはEメール koho@nurse.or.jpにてお申し込みください。

申込締切：1月18日（水）

### 1/20「データ活用は地域づくりのたまたま箱」取材申込書

貴媒体名	
貴社名・部署名	
お名前	
電話／FAX	
Eメール	
撮影有無	スチールカメラ____台／ムービーカメラ____台／撮影なし

※報道受付を設けておりますので、受付を済ませてご入場ください。

※本会の「記者会見」と「ニュースリリース」は、Eメールでもご案内しております。今後、メールでの連絡をご希望の方は、Eメール欄にご記入ください。